

2026.5.29
ヒトツナグループ職員研修会

学習面のつまずきがある子を見るときの 作業療法士の視点

発達支援室わお
作業療法士
小林 良

自己紹介

- 小林良（こばやしりょう）
- 作業療法士
- 15年間の急性期の総合病院勤務を経て
現在はSunnyキッズクリニック(川口市)にて勤務
- 「発達支援室わお」を開業(4年目)
自費の個別セッション(月2)とオンライン相談

<その他業務>

- 保育園・幼稚園の巡回相談
- 保健センター業務
(発達支援事業、5歳児健診&就学プレ教室)
- 放課後等デイサービスの外部講師
- 研修会講師（保育士・療育スタッフ対象）

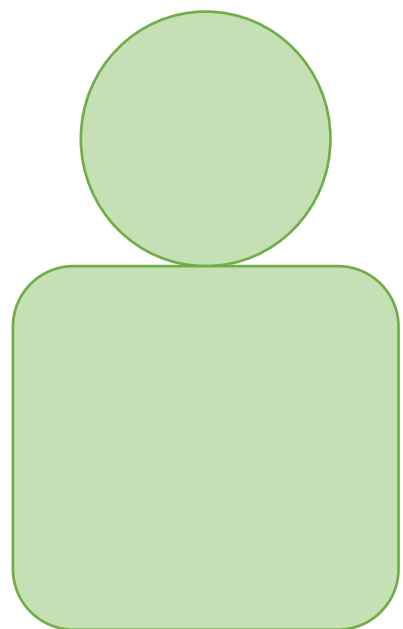


本日のテーマ

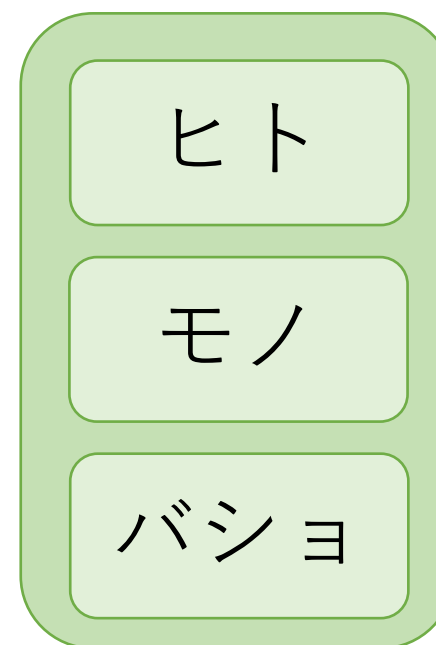
- 学習面でつまずきがある子の背景
- (介入動画からセラピーを考える)

作業療法士の役割

個体(お子さん)



環境



友達・先生

机・椅子
鉛筆・ノート
消しゴム

教室・学校

ヒト・モノ・バシヨとつなぐ

4/25 (金)

〈めあて〉

漢字をノートに
正しく書きましょう。

- ① 漢字ドリル 32ページ
- ② プリント 2まい



学習面でつまずきがある子は
なにがうまくいっていないのか

4/25 (金)

〈めあて〉

漢字をノートに
正しく書きましょう。

- ① 漢字ドリル 32ページ
- ② プリント 2まい



姿勢

手

目

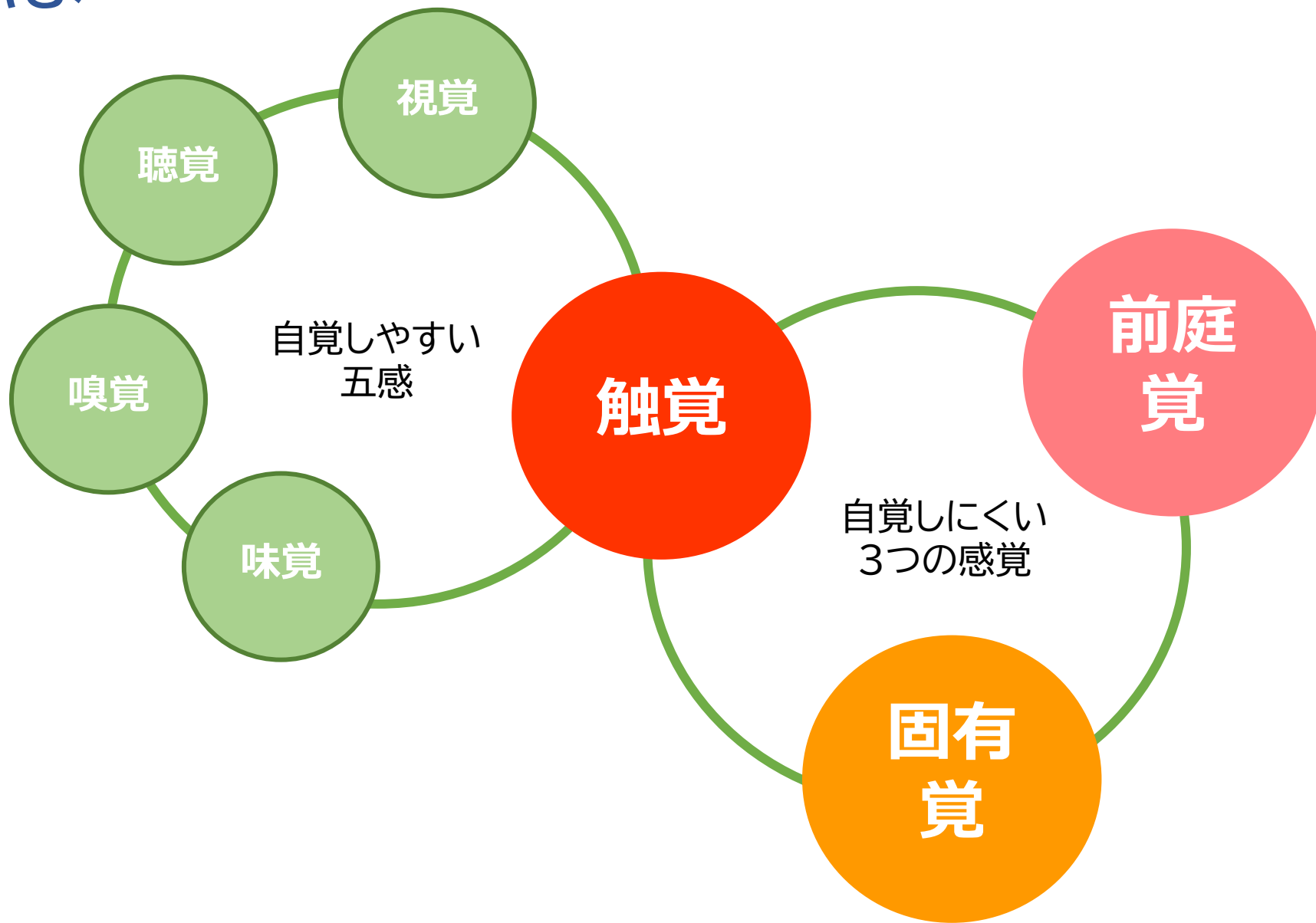
姿勢について

Q.良い姿勢が持続できないのはどうして？

隣の人と話してみましよう

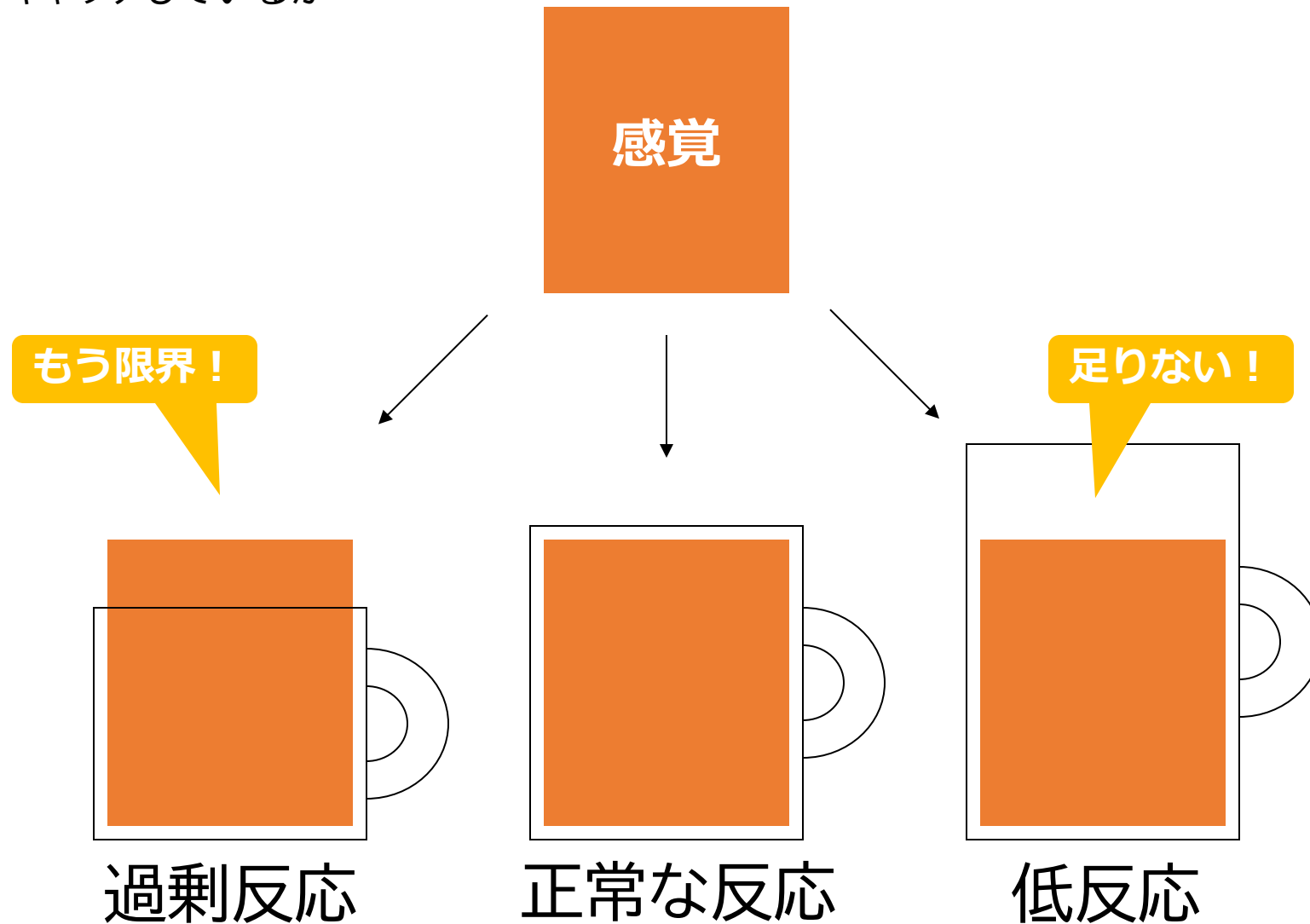


感覚とは



感覚の受け取り方を評価する

～感覚情報をどうキャッチしているか～



自覚しにくい大事な感覚① ～前庭覚～

前庭覚:動きに関する情報

- ・どのくらい身体が傾いているか
- ・どの方向に回転しているか
- ・進んでいるか 止まっているか



過剰反応(敏感)だと

- ・乗り物酔いしやすい
- ・高いところや不安定なところを嫌がる
- ・動く遊具が怖い・嫌い(重力不安)

低反応(鈍感)だと

- ・姿勢をまっすぐ保てない
- ・頭や体をいつも動かしている
- ・回る遊具やブランコが大好きで離れようとしな

自覚しにくい大事な感覚② ～固有覚～

固有覚: 身体に関する情報



- ・関節の角度
- ・筋肉の収縮の程度・力の入れ具合
- ・筋肉や関節の運動状態(どこで、どういう運動が生じているか)

→情動の安定にも関係

低反応(鈍感)だと

- ・力加減が調整できず動作が乱暴
- ・何かにぶつかったり転んだりしやすい
- ・動きを模倣するダンスなどが苦手

身体図式(ボディシエーマ)とは

「脳に備えられている身体の地図」



触覚、前庭覚、固有覚を使って
自分の身体に対する次のようなものを実感する

- ①自分の輪郭
- ②自分の身体の大きさ
- ③自分の身体の傾き
- ④手足や指の関節の曲げ伸ばし具合

発達が気になる子たちに多くみられる低緊張な身体

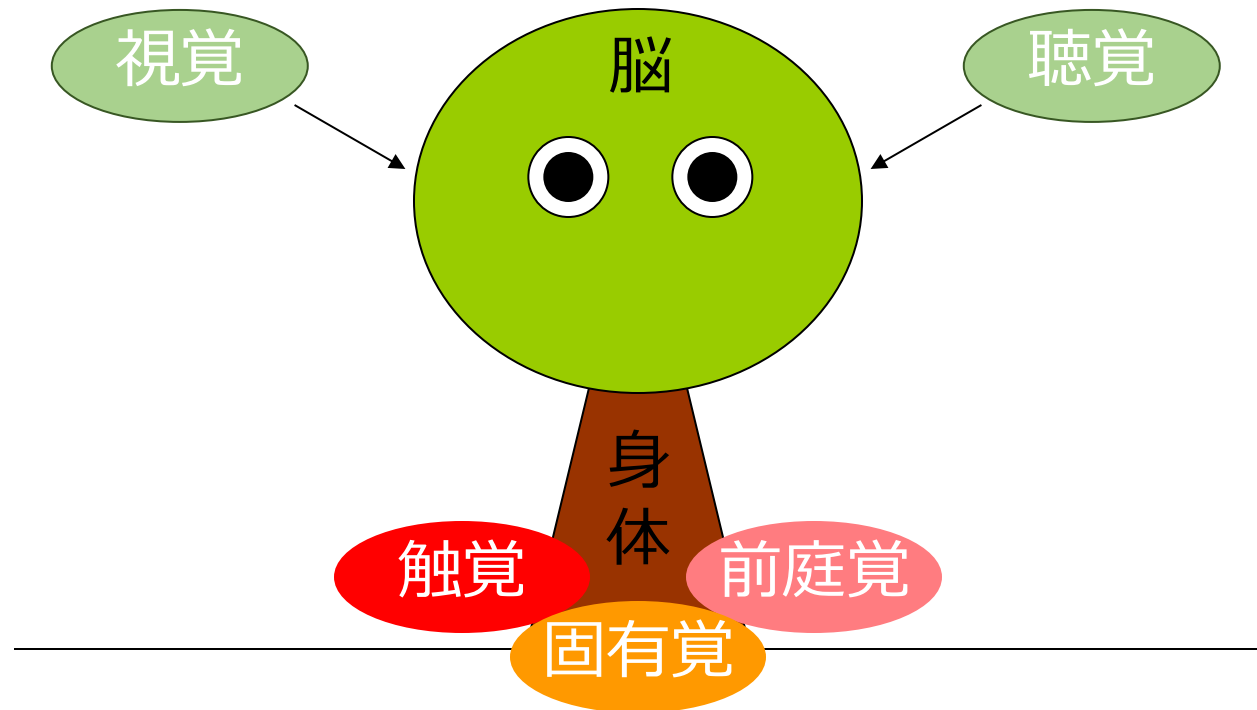
- 身体(関節)が柔らかい。
- 立っているときは、おなかを前に突き出している。
- 座っているときは、椅子の背もたれなどに寄りかかっていることが多く、お尻がズレ落ちてくる。
- 指先がうまく使えず、不器用さが目立つ。
- 口を開いていることが多く、よだれが垂れやすい。

**前庭覚・固有覚をうまく処理
できていないかも…**



感覚統合の基盤となる3つの感覚

身体に間接的に入ってくる情報



身体に直接入ってくる情報

うまく統合されないと...

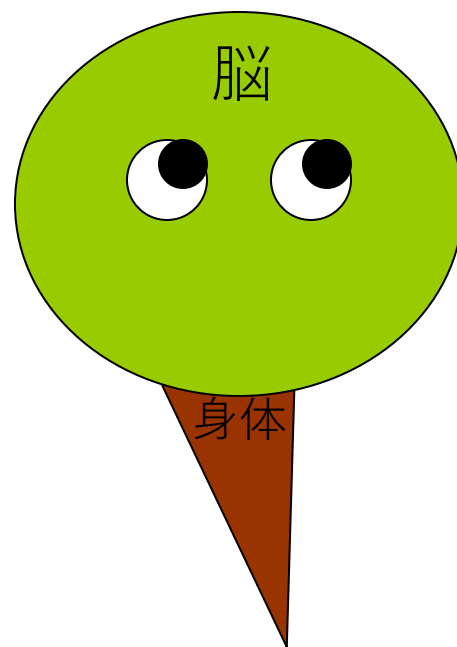
身体の動きのコントロールが苦手だと
感情のコントロールの苦手さにもつながる

視覚

視線が定まらない

聴覚

必要な音を拾えない
雑音に気をとられる

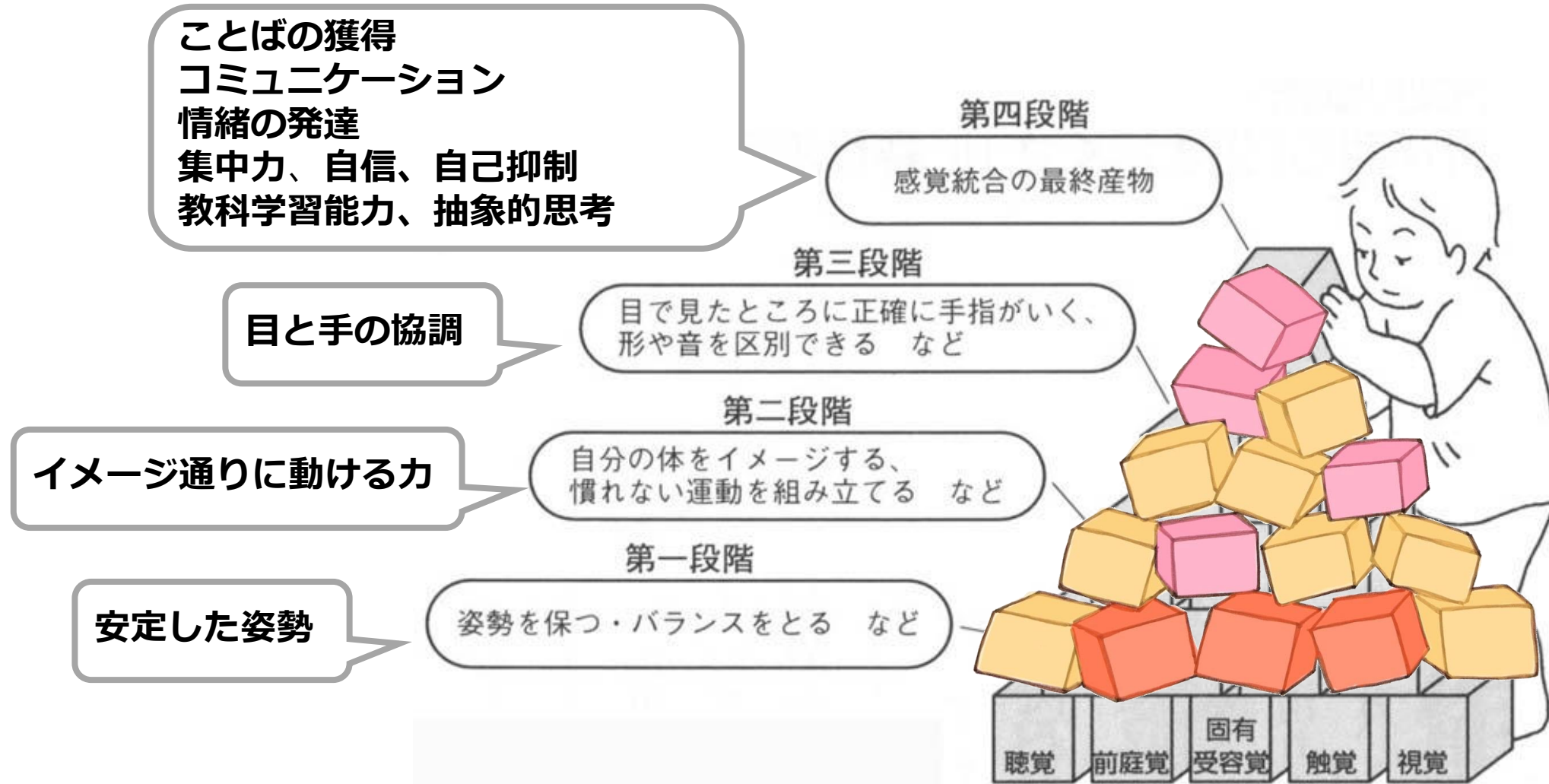


情緒が不安定

身体がうまく使えない

地に足が着かない

感覚統合の積み木のモデル



発達は…

何から始めたらいいの？…

バランス遊び



くぐる遊び



転がる & 飛び越える遊び



色々な押す遊び



バランスボールを 運ぶサーキット



頭に乗せたタオルを 落とさず運ぶ遊び



4/25 (金)

<めあて>

漢字をノートに
正しく書きましょう。

- ① 漢字ドリル 32ページ
- ② プリント 2まい



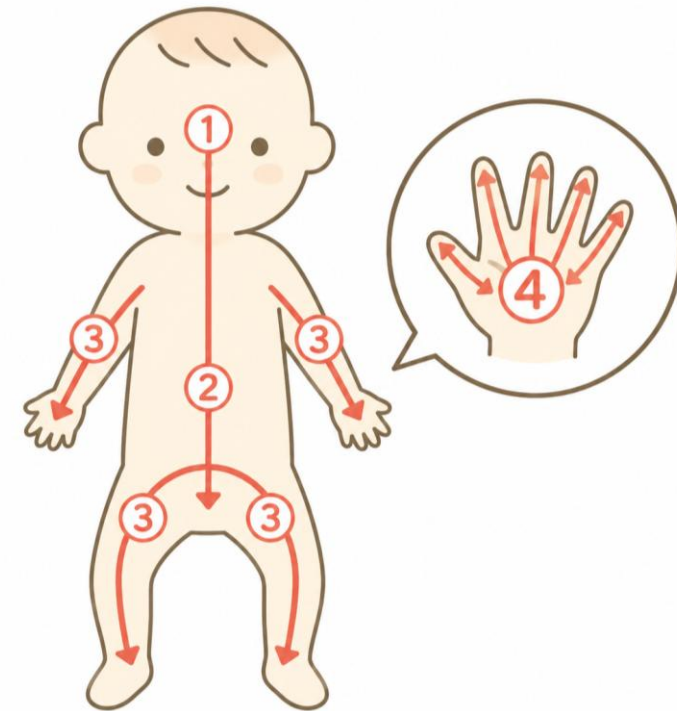
姿勢

手

目


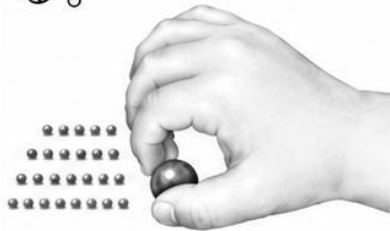



発達 の 順序性

- 頭側から尾側へ
- 中枢から抹消へ (肩→肘→前腕→手指)
- 粗大運動から微細運動へ



手の発達

物のつかみ方の発達（手の分化と統合の例）（三木，1956）

	2カ月	4カ月	6カ月	8カ月	10カ月	12カ月
つかみ方	<p>把握反射</p> 	<p>小指と掌の間に入れてつかむ</p> 	<p>親指以外の4本の指と掌の間に入れてつかむ。小さな物をつかむ時は4本の指を揃えて、搔き寄せるようにする。</p> 	<p>親指を人さし指のほうに動かせる（内転）ようになり、有効に働きはじめる。</p> 	<p>指がひとつひとつ独立して来て、親指と人さし指でものをつまめるようになる。</p> 	<p>親指と人さし指でつまんだとき、他の指が広がらなくなる。</p> 

道具操作の発達

手掌回内握り 手掌回外握り	手指回内握り	側方つまみ	静的三指握り	動的三指握り
指全体で握り込む 「上から握る」 「下から握る」	「上から握る」から 発展し、作業の幅が 広がっていく	示指・中指の側面で 支え、 母指で握りこむ	母指・示指の指腹・ 中指で支える	母指と示指が 対立し、 中指と三点で 固定する
肩と肘で操作	肩と肘で操作	肩と肘に加え 手指も動き始める	肩と肘、 手指で操作	肩と肘が安定し 手指で操作
				

ボール運び遊び



ボール運び遊び



カエルさんジャンプ



4/25 (金)

<めあて>

漢字をノートに
正しく書きましょう。

- ① 漢字ドリル 32ページ
- ② プリント 2まい



姿勢

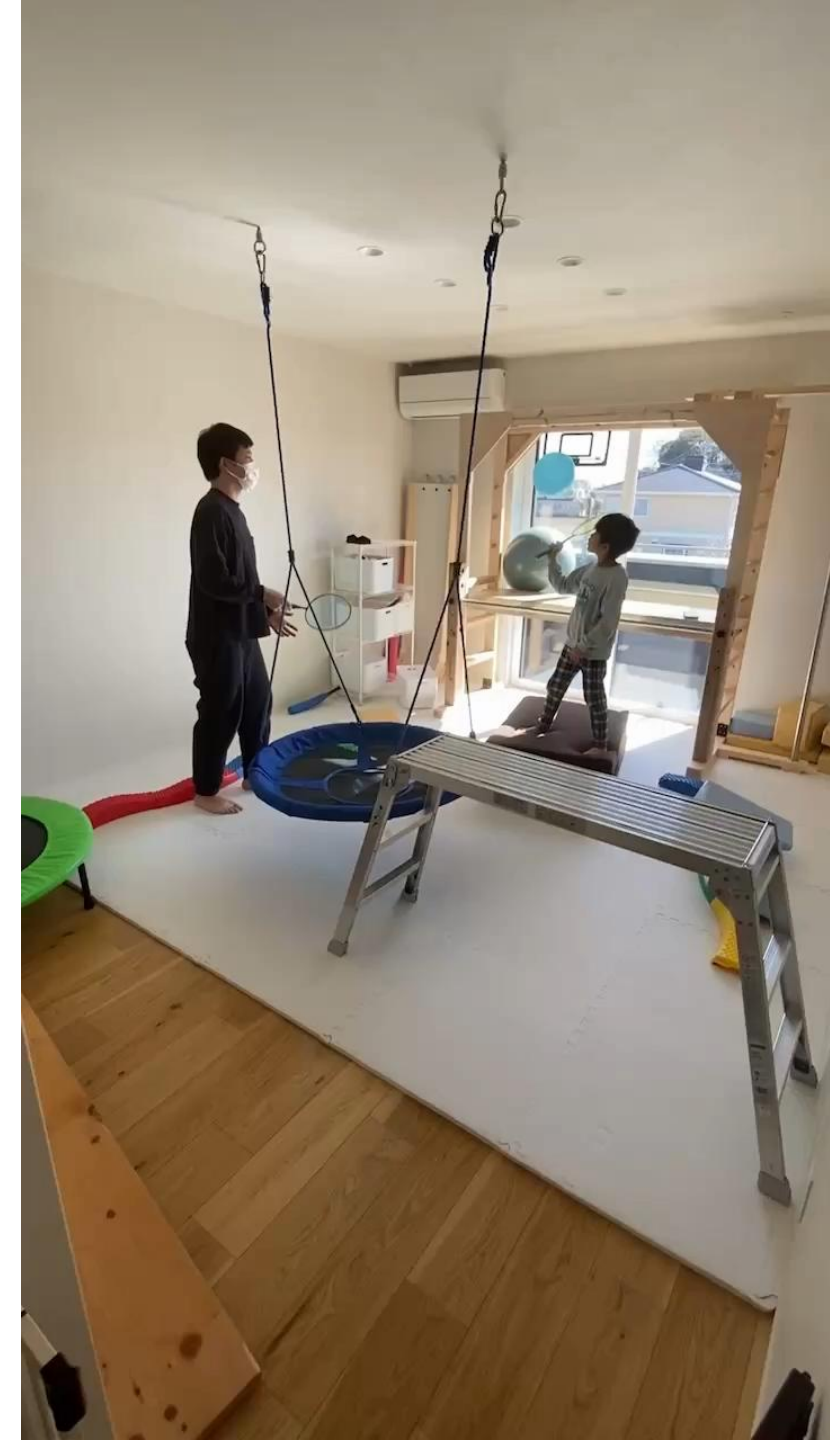
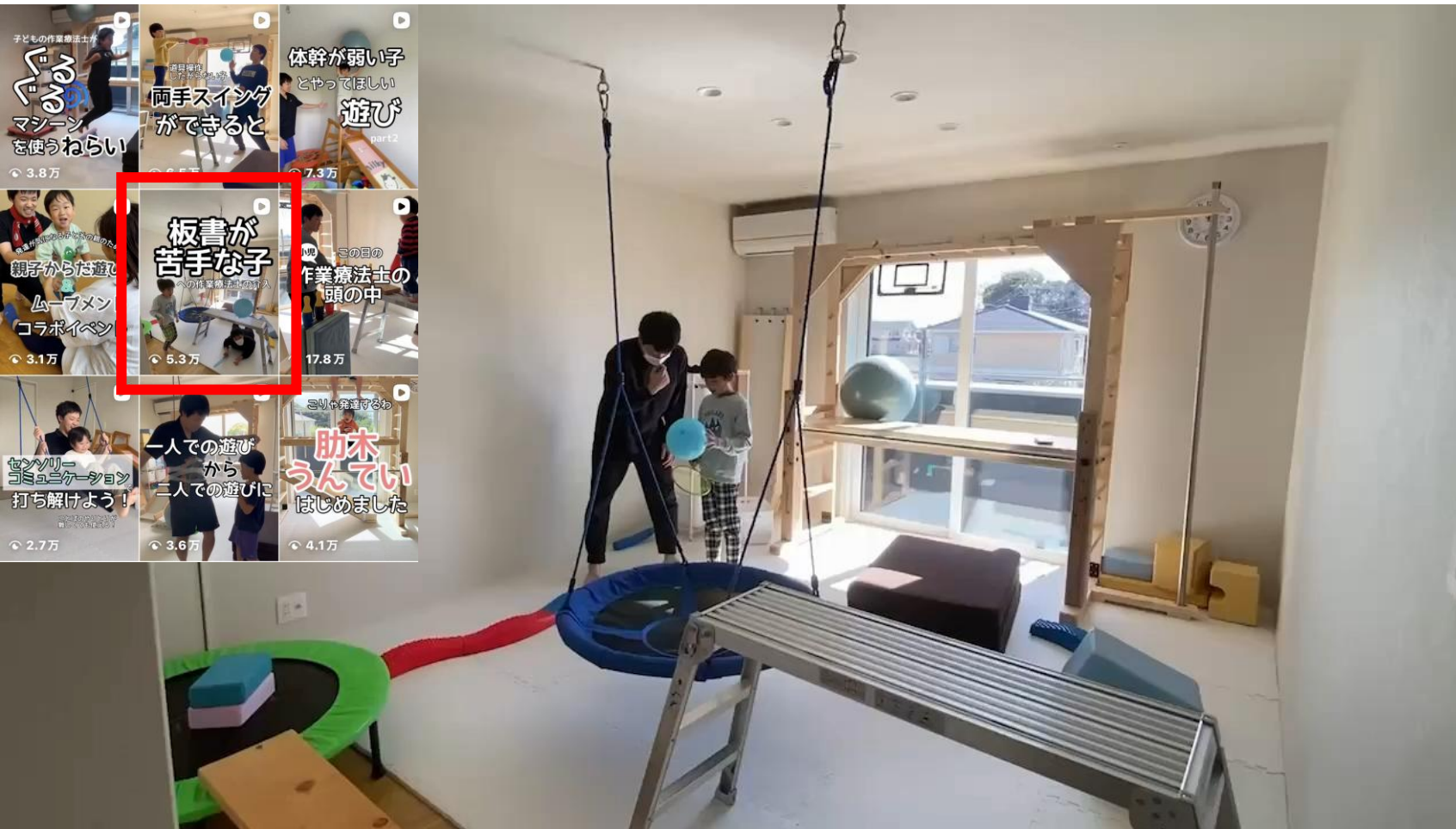
手

目

見る力に必要な「眼球運動」

- ・ 追従性眼球運動
- ・ 跳躍性眼球運動
- ・ 両目のチームワーク

眼と体のチームワークを高める遊び



視空間認知を高める遊び

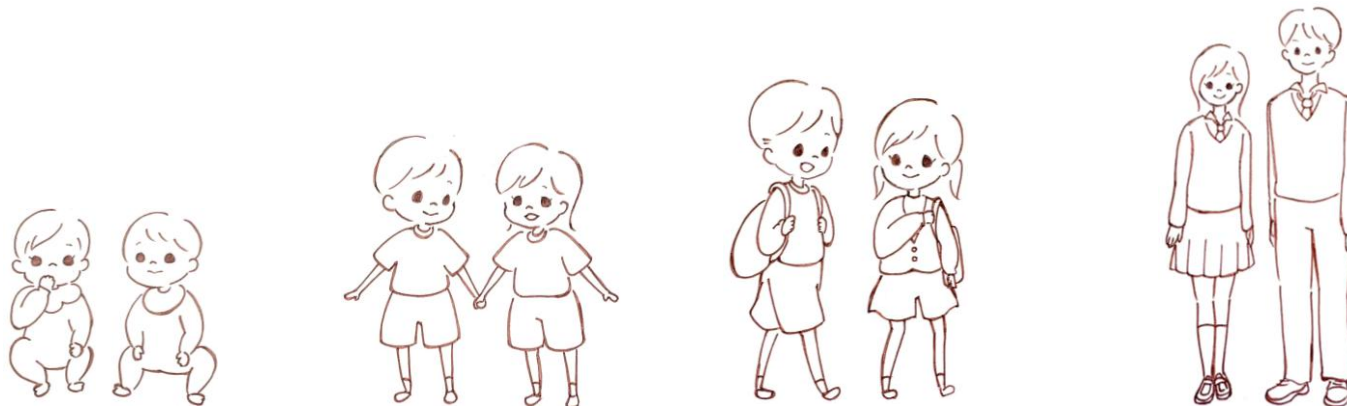


支援モデルとセラピーモデル

支援
モデル

発達支援によるアプローチ

生活支援によるアプローチ



セラピー
モデル

遅滞モデル

欠損モデル

「手当て論」と「手入れ論」

手当て：すぐに行うもの、何とか大きな傷を残さずにその場をしのいでいく手段。

(点の支援)

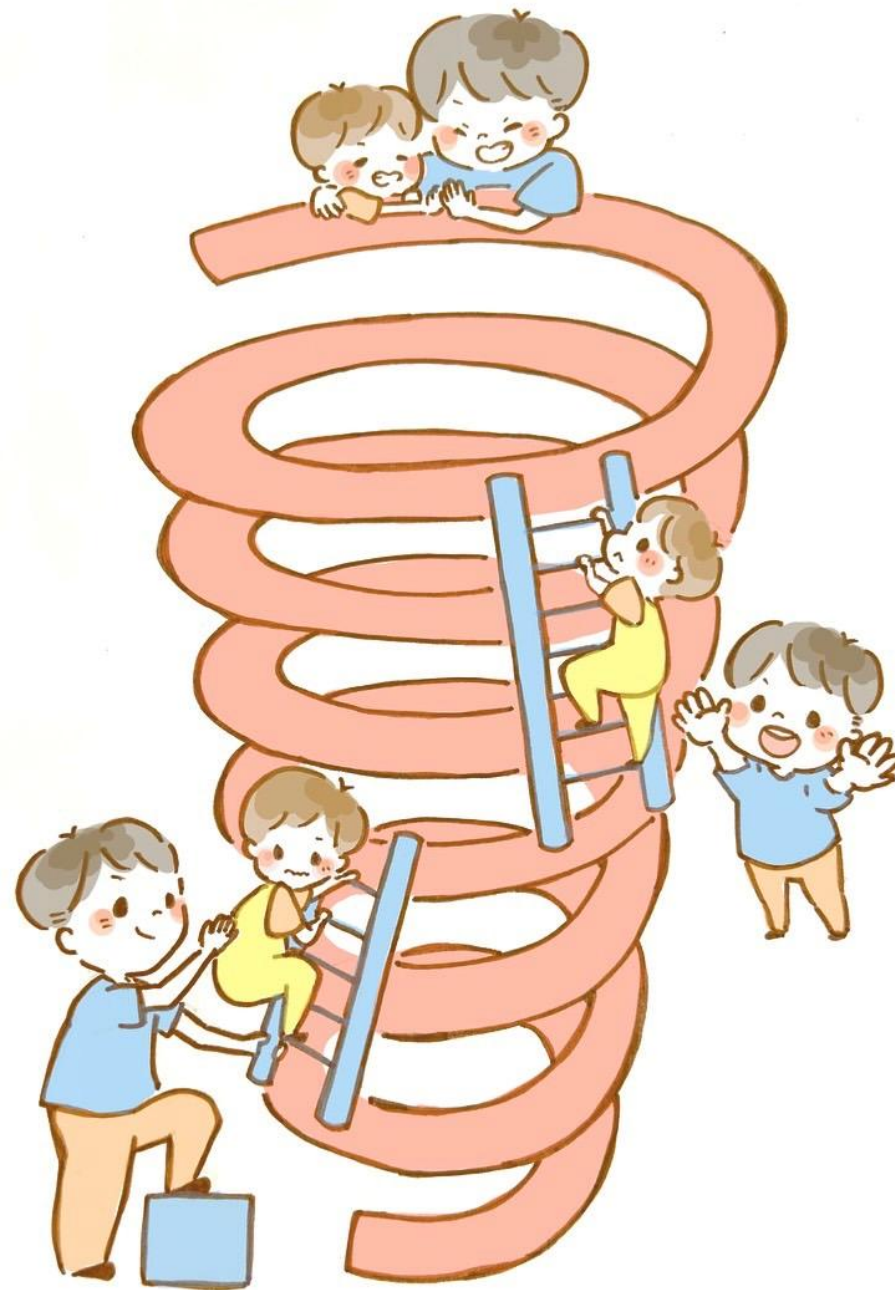
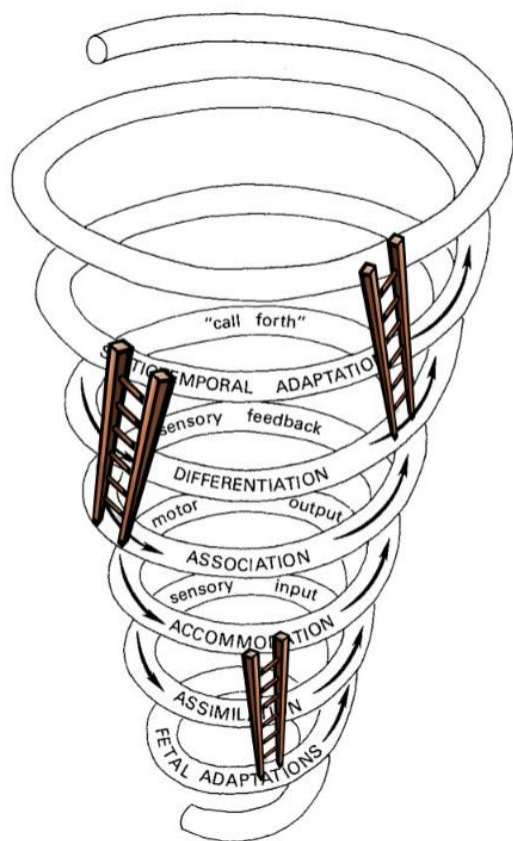
(例. 事前の声かけ、視覚情報も用いて伝える)

手入れ：日々の子育てや療育、セラピーの中で行われていくこと。(線の支援)

(例. セラピーを通して、人への意識や行為機能を高める関わりをする)



時空間適応理論



2024.8.24 「動」を使って表現するあなたのセラピー(研修会)
黒澤淳二氏「動」とは何か、セラピーとは何か 資料より

いま療育で求められていること

なぜ、いまこの活動がその子に
必要なのかを 説明できること

参考文献

- 発達の子になる子の学校・家庭でできる感覚統合あそび (監修) 川上康則 ナツメ社
- 子どもの理解と援助のために 感覚統合Q&A (監修)土田玲子 (編集)石井孝弘+岡本武己 協同医書出版社
- 神経発達症リハビリテーション 発達の子になる子どもへのアプローチ (編著)真野英寿 楠本泰士 大貫二三枝 三輪書店
- 発達の子になる子の学習・運動が楽しくなる ビジョントレーニング (監修) 北出勝也 ナツメ社

研修会は以上です！
ご清聴ありがとうございました

研修会受講後アンケートの
ご協力をよろしくお願いいたします



アンケート締め切り：5月29日（金）



@OYAKOBAASOBI